

み

か

い

安住院便り (第21号)

平成20年8月1日発行
〒703-8236
岡山市国富3丁目1-29
住職 生駒琢一
TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

宝珠(ほうしゆ)

真言宗では、宝珠即ち如意宝珠は最も重要な物の一つで、思うがままに様々な宝物を生み出す秘物です。形は、社寺や欄干などの「擬宝珠(ぎぼし)」としてよく見られる、球状で上部が少し尖った、雨粒のような形です。如意輪観音・地蔵菩薩・虚空蔵菩薩など多くの仏様も、掌に宝珠を持たれています。そして、多宝塔や五重塔などの仏塔の先端に置かれているのも、この宝珠です。特に多宝塔には火炎に包まれた宝珠があるのが一般的です。

元々は、お釈迦様の仏舎利であるとか、龍の持ち物であるとか、様々な説がありますが、真言宗の宗祖弘法大師さまも、とても大事にしておつています。

本当に意の如く宝物を出すことが可能な珠なのです。でも決してお金や食べ物などの贅沢をするための物質を出してくれることではありません。皆さんも容易に理解できると思

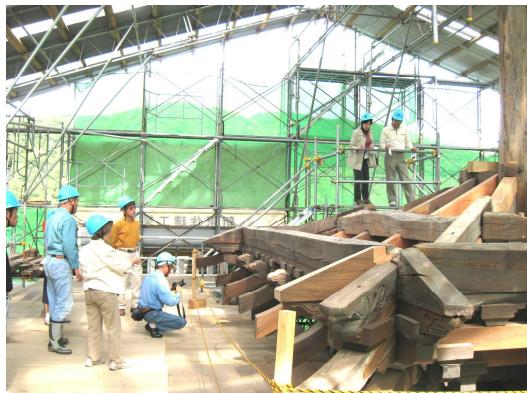


特に、多宝塔の頂上の火炎宝珠は、燃え盛る炎により、光を放ち温かさを与え、燃勢いを象徴し、みんなの願いを惜しみなく叶えてくれることを意味します。繰り返しますが、宝珠により宝くじが当たったり、お金が空から降つたりはしません。家族の幸福を願う心、みんなが生きていいく喜びを願う心、そのような願いが叶つて、始めて物質的な豊かさも意味のあるものに成つて来るのです。順序が逆なのです。お金だけに執着する人は、いくら貯まつても満足出来ないはずです。

皆様の願いは様々でしょうが、世界中の人がだけでなく、生き物全てが幸福に生きていくことが最大の願いではないでしょうか。本当はみんな、そのことを願いたいはずです。ですから、何処からでも拝めるよう、塔の先端に宝珠があるのです。

そのような塔を、お大師さまより受け継いで、昔の方々が各地に建立されたのです。宝珠に願うと云うことは、仏様に願うと云うことです。よって、宝珠も塔もみな仏様是非、修復後の多宝塔を想い、願う心を大事に持つておいて下さい。

多宝塔修復工事公開



五月三十一日・六月一日の
両日、現在修復中の安住院多
宝塔工事状況公開・第二回目
が行われました。

いよいよ、木組みの修復工
事が進行中であり、その様子
を公開することが出来まし
た。特に上層の入り組んだ構
造の不思議さに感動を覚えた
方も多いかったようです。日本
の大工さんの叡智を肌で感じ
て頂けたものと信じます。

法萬寺落慶・本尊開扉



同じ真言宗結衆寺院の岡山
市原の法萬寺にて、本堂修復
落慶と本尊開扉の記念法要が
四月に執り行われました。

御本尊は端正なお姿の聖観
音立像で、三十三年ぶりのご
開帳であり、稚児行列も行わ
れ、多くの檀信徒に見
守られ、莊
厳な法要で行
いました。

中国觀音靈場參拜④

今年の四月十六日～十七日、
中国觀音靈場參拜の第四回日
を行いました。

今回は、島根県を中心に、
最初に岡山・木山寺、最後に
福山・明王院と七ヶ寺をお参
り致しました。また、遷宮の
行われる出雲大社へもお詣り
し、仮殿遷座祭の賑わいを感
じました。

出雲から浜田まで山陰道を
ひた走り、古刹のお寺をお参
りしましたが、バス移動の時
間が長く、参拝時間は短くな
つてしまい、皆様疲れが増し
たことと存じます。

それぞれ観音様のご縁で結
ばれた靈場ですので、またい
つの日か訪れたいものです。
観音様は様々な所にいらつ
しゃる、多くの方に拝まれて
いることを実感したお参りで
した。

次回で最後、十月十六日
(木) 日帰りの予定です。

岡山市仏教会主催で、今年
も例年通り、八月十六日六時
半から、西川の緑道公園にて、
灯籠流しを開催致します。
ご先祖様の供養のため、是非
お詣りして、灯籠流しにご
参加下さい。

灯籠流し

